



光明中学校だより

ひかり 明るい みんなの笑顔 心がステキ 光明中 ～人と人のつながりがたからもの～

令和8年度 第3号【5月1日】 生駒市立光明中学校 校長 斉藤 稔

家庭訪問、ありがとうございました

5月になり、年度初めの特別な行事も一段落し、生徒たちは日々落ち着いて授業に取り組む姿を見せてくれています。

日常的に授業の様子を見て回っていますが、先日は2年生の理科の授業を参観する機会がありました。水に電流を流し、発生する気体の性質を調べる実験で、生徒たちは班ごとに分かれ、教員の説明にしっかりと耳を傾け、安全眼鏡を着用して実験に臨んでいました。実体験として学ぶ姿は大変微笑ましく、また、実験の過程をその都度 iPad で撮影・保存し、行程や結果の考察、まとめまでをデジタルで整理していく様子から、ICT を効果的に活用した授業の一例として、楽しく参観させていただきました。

一方で、実験の中に、発生した気体にマッチの火を近づけるという行程がありました。その際、生徒たちがマッチを擦る様子に、どこか戸惑いや不安を感じている様子が見てとれました。考えてみると、私たちの生活の中で、マッチを使う場面は年々少なくなっています。ご家庭でも、火を使う場面はガスコンロの自動点火や電化製品に置き換わり、「マッチを擦る」という行為そのものを体験する機会は、ほとんどなくなっているのではないのでしょうか。

今回の授業では、iPad を使って実験の過程を記録し、考察やまとめを行うなど、ICT を効果的に活用する姿が見られました。デジタル機器は、生徒たちにとって日常の一部であり、直感的に扱うことができる身近な道具となっています。その一方で、マッチのように、かつては生活の中で当たり前に使われていたものが、今では特別な体験になりつつある現実も感じさせられました。デジタルの便利さと、実体験としての学び。どちらか一方ではなく、社会の進化や生活様式の変化を踏まえながら、その両方のバランスを大切にしていくことが、これからの教育には求められているのだと感じました。

先日の家庭訪問では、平日のお忙しい時間帯にもかかわらず、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。学校でのお子さまの様子をお伝えするとともに、ご家庭での様子をお聞きすることができ、大変有意義な時間となりました。引き続き、教職員一同、生徒一人ひとりの成長を大切にしながら、安心して学べる学校づくりに努めてまいります。今後ご家庭と連携を図りながら教育活動を進めてまいりますので、変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。